

## V 植栽管理の方針

### 1 石垣や遺構の保全に影響を及ぼす樹木の取り扱い

#### (1) 石垣の積み石に変位を及ぼしている樹木(表 11, 第 25 図)

##### ア 支障となる樹木

指定地内において、石垣の積み石中のほか石垣天端や根石に近接し、或いは江戸時代に石垣の孕みや緩みなどの変位が生じたものの積み直しを行わず、新たな石垣を毀損部に構築することで崩壊を防止した補修(はばき)石垣に植生している樹木は 245 本で、このうち中・高木は 223 本を数える。支障となっている樹木のうち最も課題となっている樹木は、石垣の天端から中位に植生したケヤキやエドヒガンで、石垣に顕著な変位をもたらしている。地区と樹木をみると、二ノ丸東側のケヤキ、吹上門跡への登城坂正面のエドヒガンとサクラや榊山稲荷曲輪東側のエドヒガンがあげられる。

また、軽微な石垣変位ではあるものの、二ノ丸西側や榊山稲荷曲輪内の石垣天端隅石に植生している高木のアカマツ、エドヒガン、サクラの枯枝は石垣の下に垂れ下がっている状態にある。このほか、二ノ丸、三ノ丸、淡路丸、さらには孫蔵跡の登城坂のクロマツは石垣天端の外周に直列に配されている中木～高木のアカマツ。さらに、各地区の石垣天端や根石に近接して植生しているイチイ、イチョウ、イタヤカエデ、イロハモミジ、ウメ、コウヤマキ、ゴヨウマツ、サクラ、サルスベリ、サワラ、スギ、ソメイヨシノ、ニガキ、ハナモモ、バンクスマツ、ヤマモミジ、ルブラカエデなどの樹木は成長や地震などの災害にともなって樹根が積み石に影響を及ぼすことが懸念される。

なお、ウメモドキ、ザイフリボク、サツキ、ツゲ、ニシキギ、ハナカイドウ、ロウバイ、ヤマボウシ、ユキヤナギなど 22 本の低木は石垣の変位に直接的に影響する可能性は低いが、補修するための石垣上下に生育していることや石垣修復に伴って支障となっている。

##### イ 対応方針

石垣において樹木が生育すると、根系の侵入による石積みの孕み、倒木に伴う石垣の毀損につながる恐れがあるため、早期に対策を講じる必要がある。

- (ア) 石垣に生育する樹木については、必要に応じて石垣保存の措置として伐採を進めるものとする。
- (イ) 樹木の根系の広がりによって異なるが、石垣天端や根石から 3 m 以内の範囲については、原則として植栽を行わないこととする等、将来にわたって樹木の根が石垣に悪影響を及ぼさないような措置を講じることとする。
- (ウ) 根系の除去が遺構の保存に悪影響を及ぼす場合については、根系が枯死・腐朽した後に除去を行うものとし、除去後に適切な処置を施すものとする。
- (エ) 石垣面に生育する低木や草本類については、定期的に刈り取りを行う。

## ウ 課題

遺構と石垣の保全を優先するが、次の課題がある。まず、榊山稲荷曲輪東側の石垣天端のエドヒガンは、落雷を受けて大きく損傷しているものの、江戸時代から植生している古木の可能性が指摘されていることから、石垣変位の推移を観察しながら段階的に対応することとする。

なお、中国原産のイチョウ、サルスベリ、ハナカイドウ、ハナモモ、ロウバイや関東以西を原産とするユキヤナギは除去するものとする。ただし、ウメは歴史的修景を構成することから、石垣の変位と樹木の状態を観察しながら徐々に離すこととする。

また、鶴ヶ池と亀ヶ池の北側の積み石は、隣接する指定地外の内丸緑地に植えられて巨木化したヒマラヤスギの根によって崩壊しており、課題となっている。

基本方針：石垣に変位を及ぼしている樹木は緊急に伐採とし、石垣に近接して将来的に変位を及ぼす可能性のある樹木は変位の状況を観察しながら修景や眺望の観点から対処

（抜根は行わず、変位の経過観察の後に必要に応じて石垣修復を検討）

対象樹木：石垣積み石に生育し、石垣天端や根石に近接している樹木

（石垣天端及び根石から3m以内に生育している樹木とするが、樹木によってはこれ内外の距離を保つ）

## （2）石垣に近接している樹木（表12、第26図）

### ア 支障となる樹木

江戸時代の本丸内は、坪庭や通路を除いて建物が密集して建てられていたが、その建物も明治7(1874)年に解体された。同時に城内の樹木973本も売却され、さらに明治24年にも1,304本が売却されている。明治39(1906)年の公園開設の式典時には、荒地とっていた土地が整地されて式典会場となっている。本丸の植栽は、明治39年に描かれた長岡安平の設計図によれば、園路沿いや石垣縁辺部にマツの植樹が計画され、実際に植えられている。今日みられるイタヤカエデ等は明治41(1908)年に造営された「南部中尉騎馬像」以降で、本丸建物の基礎跡が整地され、落葉樹を主体に整備されたことが古写真から伺える。なお、イロハモミジは戦後に植えられたものである。また、今日みられるカエデ類などの落葉樹の景色は、秋季には市民にとって憩いと安らぎの空間となっているものの、大木となった根が地下遺構に与える影響と石垣天端上に植えられたアアカマツは史跡の保存管理上から課題となっている。

（ア）石垣に近接している樹木は、具体的に変位を与えない限り、現状維持とする。

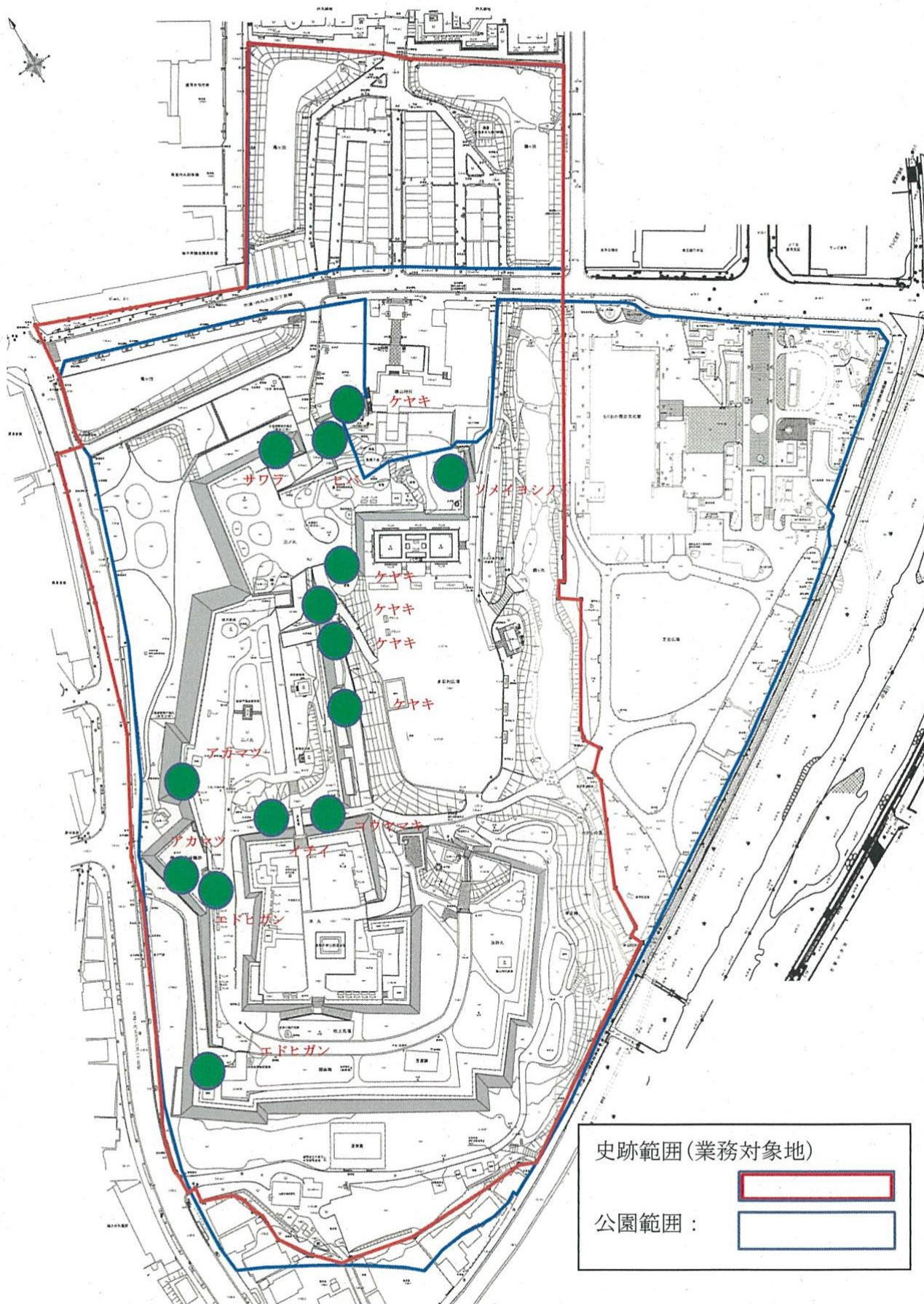
（イ）石垣に近接する樹木であっても石垣に悪影響を与えないと判断される樹木については、今後の整備に支障のないものに限り、石垣修復工事の際に防根シートの施工を検討するなど可能な限り残すこととする。

### イ 対応方針

（ア）樹種によって根系の広がり異なるが、石垣天端や根石から3m以内の範囲は、原則として植栽を行わないこととし、樹種によってはこれ以上の距離を保つ。

表 11 石垣の積み石に変位を及ぼしている樹木

番号	地区	樹種・本数	本数	直径(cm)	幹周(cm)	地区順
						影響
40	二ノ丸内	アカマツ	1	45	141	南西部出隅, 変位
276	二ノ丸内	イチイ	1	45	141	南西部石垣天端, 変位
277	二ノ丸内	イチイ	1	80	251	南東部石垣天端, 変位
941	二ノ丸内	ケヤキ	1	82	257	北東部石垣積み石中, 変位
942	二ノ丸内	ケヤキ	1	80	251	北東部石垣積み石中, 変位
943	二ノ丸内	ケヤキ	1	—	—	東側補修石垣積み石中, 変位
979	二ノ丸内	コウヤマキ	1	96	301	南東部石垣天端, 変位
—	二ノ丸	イロハモミジ1, ウメモドキ1, ザイフリボク1, ニシキギ1, ハナカイドウ4, ヤマボウシ1, ロウバイ1	10	—	—	東側補修石垣上下に生育
968	三ノ丸内(神社)	ケヤキ	1	90	283	北東部石垣積み石中, 変位
1364 ～ 1391	三ノ丸	サワラ28	28	—	—	北西部瓦門石垣天端, 変位
1564	三ノ丸内(神社)	スギ	1	75	236	北東部石垣天端, 変位
1567	三ノ丸内(神社)	スギ	1	47	148	北東部石垣天端, 変位
1571	三ノ丸内(神社)	スギ	1	50	157	北東部石垣天端, 変位
—	三ノ丸内(神社)	ヒバ	6	—	—	瓦門東側石垣天端, 変位
1035	淡路丸	エドヒガン	1	49	154	吹上門石垣天端, 変位
1036	淡路丸	エドヒガン	1	47	148	吹上門石垣天端, 変位
—	淡路丸	ハナモモ3, ユキヤナギ10	13	—	—	南西隅補修石垣上下に生育
46	榊山稲荷曲輪	アカマツ	1	65	204	石垣天端に近接, 変位
737	榊山稲荷曲輪	エドヒガン	1	116	364	石垣天端に近接, 変位
計			72			



第 25 図 石垣の積み石に変位を及ぼしている樹木



なお、更新時には現在の園路の内側への植栽は行わない。

(イ) 地下遺構の保存上から支障となっている樹木を伐採する。

(原則として抜根行わないが、表土(盛土を含む)中におさまる根は撤去)

(ウ) 絵図等から建物が存在したと想定される場所に生育する樹木または発掘調査  
 の中から遺構と重複している樹木の伐採

## ウ 課題

石垣に近接し、高木になっている樹木は風の影響を受けやすく、予期せずに倒木する可能性があることから、日常管理による剪定を必要とする。

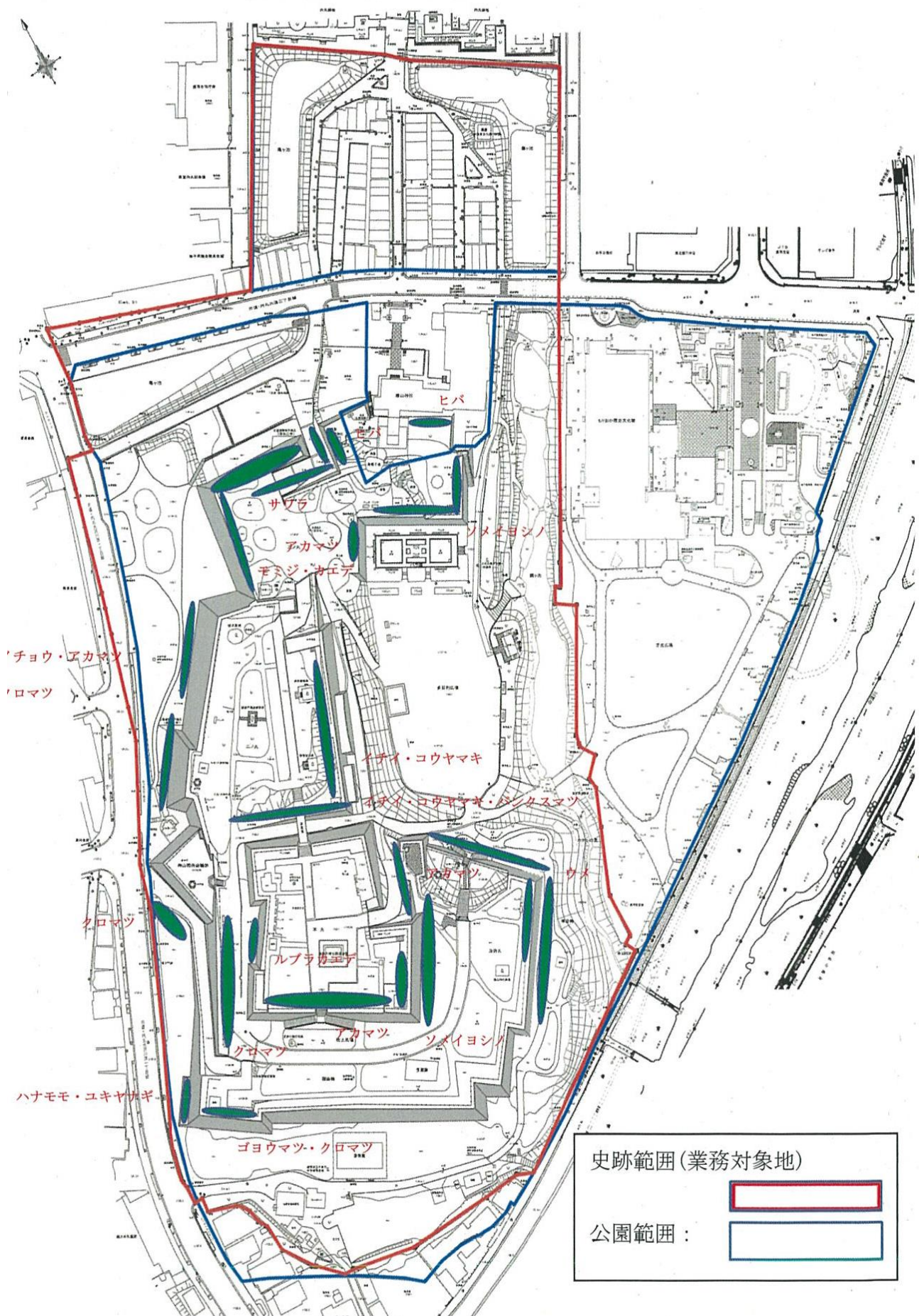
## (3)土塁・堀跡等法面を洗掘している樹木

本来、近世城郭が機能していた当時は、土塁や堀などの法面には、植栽は行わないことで維持されてきたが、公園整備に伴い低木類が植えられ、植栽または自生した中・高木が巨木化し、さらには自由に通路が設けられたことで、様々な課題が生じている。

特に、樹木の根や通路による踏圧等により表土が流失して裸地が発生した場所では、新たに降雨時の水の流路となるなど遺構への悪影響が発生している。

表 12 石垣の積み石に近接している樹木

番号	地区	樹種・本数	影響	低木	中・高木	地区順 全体本数
1	本丸	アカマツ13	石垣天端に近接	0	13	13
2	本丸門跡登城坂	アカマツ6	石垣天端や根石に近接	0	6	6
3	二ノ丸	ケヤキ2, アカマツ7, イチイ4, エドヒガン1, コウヤマキ2, サワラ1, バンクスマツ1	石垣積み石中, 天端に近接	0	18	18
4	二ノ丸東側補修石垣上下	イロハモミジ1, ウメモドキ1, ケヤキ1, サイフリボク1, ニシキギ1, ハナカイドウ4, ヤマボウシ1, ロウバイ1	補修石垣上下に生育	9	2	11
5	三ノ丸	アカマツ5, イタヤカエデ1, イロハモミジ4, ケヤキ2, サクラ3, サワラ37, スギ5, ソメイヨシノ5, ヒバ6	石垣天端や根石に近接	0	68	68
6	淡路丸	アカマツ13, イチョウ1, エドヒガン2, クロマツ27, ゴヨウマツ8, サクラ5, モミジ2, ヤマモミジ2, ルブラカエデ2	石垣天端に近接	0	50	50
7	榊山稻荷曲輪	アカマツ1, エドヒガン1, サワラ1	石垣積み石中, 天端に近接	0	4	4
8	淡路丸	イチイ2, イチョウ2, イロハモミジ2, ウメ20, クロマツ19, サツキ1, サルスベリ2, サワラ1, スギ2, ツゲ2	石垣天端や根石に近接	3	50	53
9	淡路丸補修石垣上下	ハナモモ3, ユキヤナギ10	補修石垣上下に生育	10	3	13
10	櫻山神社周辺	イタヤカエデ3, イロハモミジ2, ウメ1, ケヤキ1, ニガキ1, ヒノキ1	石垣根石に近接	0	9	9
計				22	223	245



第 26 図 石垣の積み石に近接している樹木

基本方針：法面の洗掘の原因となっている樹木の伐採，剪定，移植と地被植物の  
植栽対象樹木：法面に植栽された低・中・高木

#### **ア 支障となる樹木**

(ア) 法面に植栽された低・中・高木

#### **イ 対応方針**

- (ア) 発生した裸地については，立ち入りを制限の対策を講じるとともに，腐植土や木材チップを敷設して，洗掘の防止を図り植生の回復に努める。
- (イ) 既に小規模な流路が形成されている箇所については，上記の措置のほか必要に応じて土木的な整備について検討するものとする。
- (ウ) 密植している低木類のうち，移入木を主にして本数を間引き，また根によって洗掘が顕著で法面の崩壊の原因となっている中・高木の伐採を進める。

### **(4) 遺構の保存上支障となる樹木**

基本方針：地下遺構の保存上から支障となっている樹木の伐採(原則として抜根は行わないが，表土(盛土を含む)中におさまる根は撤去)  
対象樹木：絵図等から建物が存在したと想定される場所に生育する樹木または発掘調査から遺構と重複している樹木

## **2 史跡の保存整備上支障となる樹木**

### **(1) 史跡整備**

基本方針：史跡整備上支障となる樹木は必要に応じて伐採  
(表土中に根がおさまる樹木は移植，遺構面を損する樹木は伐採)  
対象樹木：対象樹木：瓦門及び三ノ丸石垣内外の実施に支障となる樹木

### **(2) 発掘調査**

#### **ア 対応方針**

史跡整備及び学術調査に伴う発掘調査で支障となる樹木は必要に応じて移植，伐採を行う(表土中に根がおさまる樹木は移植，遺構面を損する樹木は伐採)。

#### **イ 対応方針**

対象樹木：実施に支障となる樹木

### **(3) 整備上支障となるその他の樹木**

#### **ア 緑地空間に密生している樹木**

基本方針：緑地保全を目的として必要に応じて適宜間伐

#### **イ 幹や枝が枯損し倒木や落枝の可能性のある樹木**

基本方針：景観保全や危険防止を目的として適時，枝払い又は伐採  
対象樹木：本丸門下のアカマツなど

### 3 歴史的価値を構成する樹木の保護育成(表 13・14, 第 27・28 図)

明治 7 年及び明治 24 年に江戸時代から残る樹木の大半が伐採されて売却された経緯があるが、古い写真によると二ノ丸南東部、三ノ丸北東部、淡路丸南西部には依然として樹木が残されたことが看取できるが、その多くは更新されている。

現在生育している樹木のうち、江戸時代から残されている可能性のある樹木としては三ノ丸鳩森曲輪や榊山稻荷曲輪東側のエドヒガンが指摘されているが、二ノ丸南東部のエドヒガンも可能性があり、これらの江戸時代から生育している樹木を古木として定義し、保護しながら更新を図るものとする。なお、明治期以降の樹木についても歴史的経過を踏まえてそれぞれ更新をおこなう。現存する樹木のうち、次に該当する樹木については、積極的に保全を図るものとする。ただし、遺構の保存に悪影響を恐れがある場合、または公園の安全性を脅かす場合には、伐採を含めた対策を検討する。

#### (1) 江戸時代から生育する可能性のある樹木

基本方針：原則保護生育することとするが、本質的価値を構成する枢要の諸要素の保存管理に支障を生じている樹木については伐採する。

対象樹木：エドヒガン(二ノ丸／南東部、三ノ丸／鳩森曲輪、榊山稻荷曲輪／東部／石垣に変位を与えている)、コウヤマキ・イチイ(二ノ丸／南東部)

#### (2) 明治期以降から生育する樹木

サクラ(淡路丸)、ウメ(腰曲輪東側)、モミジ(本丸、二ノ丸)

保護の対象樹木は、過度な落ち葉かき等により、根系が露出しないことに配慮する。

すでに根系が露出している樹木については、根系周辺の腐植層を確保するとともに、根元を踏み固めない等の対策を講じる。また、専門家による定期的な診断を行い、適切な措置を講じる。

基本方針：本質的価値を構成する枢要の諸要素の保存管理に支障とならない限り適宜保全する。

対象樹木：モミジ(本丸)遺構との重複関係から残置を検討する。

モミジ(二ノ丸／西側)、サクラ(淡路丸／南・西側)、ウメ(鉛蔵跡)、イチイ(二ノ丸／南東隅)、コウヤマキ(二ノ丸／南東隅)、ソメイヨシノ(三ノ丸／鳩森曲輪)、クマノミズキ(三ノ丸／中央)、イタカエデ(三ノ丸／西側)、ソメイヨシノ(淡路丸／南西側)、ケヤキ(鶴ヶ池／北西部)、コブシ(台所跡／トイレ北側)

#### (3) 樹齢が古いとされる樹木(表 13, 第 27 図)

基本方針：本質的価値を構成する枢要の諸要素を阻害している樹木や来園者や通行車両に危険を及ぼし、または及ぼす可能性のある樹木は計画的かつ日常的に伐採や剪定する。

対象樹木：イタヤカエデ、イチョウ、エゾエノキ、エドヒガン、キハダ、ケヤキ、コウヤマキ、シダレヤナギ、トチノキ、ハリギリ



#### (4) 幹周り 3 m以上の樹木(表 14, 第 28 図)

基本方針：来園者や通行車両に危険を及ぼし、本質的価値を構成する枢要の諸要素を阻害している樹木は計画的かつ日常的に剪定又は伐採する。

対象樹木：イタヤカエデ、イチョウ、エゾエノキ、エドヒガン、キハダ、ケヤキ、コウヤマキ、シダレヤナギ、トチノキ、ハリギリなど。

#### (5) 生育数が少ない樹木(表 15・16)

史跡内の樹木のうち 5 本以下の樹木は 88 種と同種の個体である。盛岡市内に植物園が少ないため、大半が造園植物であり、いずれの樹木も植物園的な展示を目的に植えられた経緯がある。なお、これらの生育数が少ない樹木のうち、希少なのは国の天然記念物として指定されているシダレカツラと盛岡市の天然記念物に指定されているケンポナシが希少とされる。なお、外来種のナンジャモンジャ(ヒトツバタゴ)も盛岡では貴重とされる。

基本方針：盛岡市にとって貴重な樹木は、本質的価値を構成する枢要の諸要素の保存管理に支障とならない限り適宜保全する。

対象樹木：ケンポナシ、シダレカツラ

表 13 樹齢が古いとされる樹木

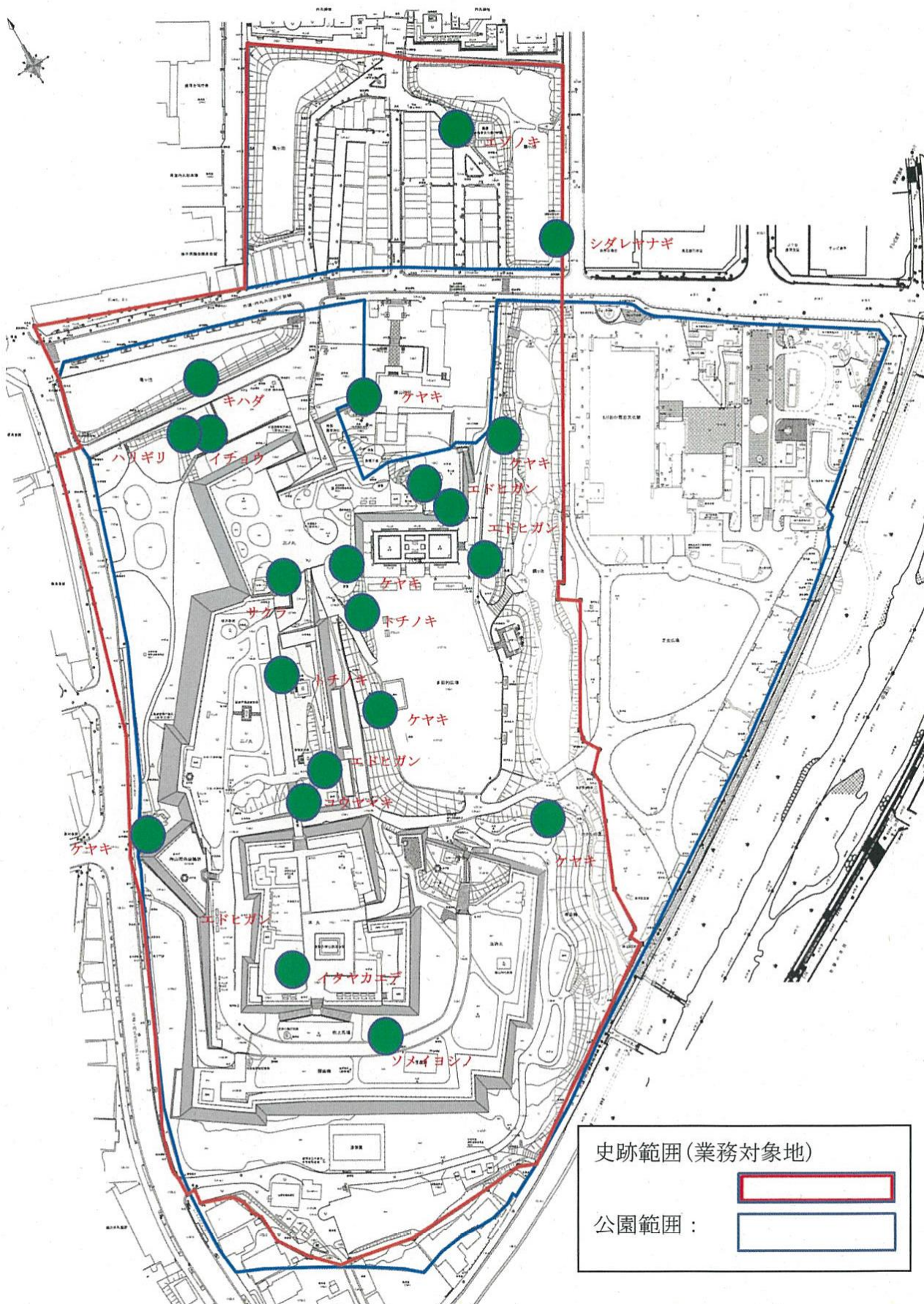
							五十音順	
番号	地区	本数	直径(cm)	幹周(cm)	広	針	地区	本数
247	イタヤカエデ	1	63	198	22		三ノ丸西部	22
277	イチイ	1	80	251		34	二ノ丸南東部	34
737	エドヒガン	1	116	364	19		榊山稲荷曲輪東(淡路丸)	19
745	エドヒガン	1	164	515	19		三ノ丸東部(鳩森曲輪)	
775	カシワ	1	62	195	9		本丸南東部	9
838	クマノミズキ	1	50	157	2		三ノ丸瓦門南	2
964	ケヤキ	1	94	295	40		三ノ丸北東下(鶴ヶ池西)	40
979	コウヤマキ	1	96	301		9	二ノ丸南東部	9
988	コブシ	1	69	217	7		台所跡藤棚南	7
1044	サクラ(ソメイヨシノ)	1	96	301	10		淡路丸西側(本丸下南西部)	190
1595	ソメイヨシノ	1	62	195			三ノ丸東部(鳩森曲輪)	10
1596	ソメイヨシノ	1	92	289			三ノ丸東部(鳩森曲輪)	
1597	ソメイヨシノ	1	83	261			三ノ丸東部(鳩森曲輪)	
—	モミジ	1			27		三ノ丸中央(枯損により伐採)	27
計		14			155	43	0	369



表 14 幹周り 3 m以上の樹木

						五十音順
番号	種類	本数	直径	幹周り	地区	備考
261	イタヤカエデ	1	96	302	本丸南西部	
306	イチョウ	1	99	311	三ノ丸北西部下	
722	エゾエノキ	1	97	305	下曲輪北東部(鐘楼北西)法面	
737	エドヒガン	1	116	364	二ノ丸南東(警察彰功碑東)	
743	エドヒガン	1	100	314	鶴ヶ池藤棚西側	
745	エドヒガン	1	164	515	三ノ丸東部(鳩森曲輪)	(参考)石割桜:443cm
746	エドヒガン	1	107	336	三ノ丸東部(鳩森曲輪)南東隅	空洞化が進んでいる
1013	エドヒガン	1	97	305	三ノ丸南側(車門脇)	
823	キハダ	1	97	305	亀ヶ池南側	
944	ケヤキ	1	100	314	台所跡(双龍亭)西側斜面上	
947	ケヤキ	1	134	421	榊山稻荷曲輪下西側(トイレ付近)	
948	ケヤキ	1	118	371	腰曲輪下北東(ホテルの里西)	
952	ケヤキ	1	153	481	三ノ丸南東部	(石割ケヤキ)
954	ケヤキ	1	99	311	三ノ丸下北東(神社境内地)	
958	ケヤキ	1	135	424	三ノ丸下東(鶴ヶ池西)側	
979	コウヤマキ	1	96	302	二ノ丸南東	
1508	シダレヤナギ	1	100	314	岩手日報社西側	
1098	ソメイヨシノ	1	104	327	淡路丸中央部(本丸下南東)	
2204	トチノキ	1	100	314	二ノ丸北半(消防義魂碑北側)	
2210	トチノキ	1	116	364	台所跡北西斜面(不明門南東下)	
2413	ハリギリ	1	102	320	三ノ丸下北側	
計		21				





第 28 図 幹周り 3 m以上の樹木



表 15 生育数が5本以下の樹木(1)

五十音順								
番号	種類	本数	低	高	広	針	その他	原産地
2	アオギリ	2		2	2			東南アジア
4	アカマンサク	3		3	3			
6	アズキナシ	1		1	1			
8	アブラチャン	2	2		2			
9	アメリカザイフリボク	4		4	4			北米
12	イチジク	3		3	3			
20	ウラジロモミ	1		1		1		常緑
25	エンジュ	1		1	1			中国
27	カエデ	3		3	3			
28	ガクアジサイ	1	1		1			
29	カクレミノ	4		4	4			常緑
31	カスミザクラ	2		2	2			
32	カツラ	5		5	5			
33	ガマズミ	1	1		1			
34	カマツカ	1	1		1			
35	カヤ	1		1		1		常緑
38	キタゴヨウ	1		1		1		常緑
39	キハダ	2		2	2			
40	キャラボク	4	4			4		常緑
41	キリ	1		1	1			
43	クヌギ	3		3	3			
44	クマノミズキ	2		2	2			
45	クリ	1		1	1			
48	ケンポナシ	4		4	4			
50	コゴメウツギ	2	2		2			
51	コハウチワカエデ	1		1	1			
53	コマユミ	2	2		2			
54	コムラサキ	3	3		3			
56	サイカチ	1		1	1			
57	ザイフリボク	1		1	1			
59	サザンカ	3		3	3			常緑
61	サラサドウダン	5	5		5			
62	サルスベリ	5		5	5			中国
64	サンザシ	3	3		3			中国
66	サンショウ	4			4			
68	シダレカツラ	1	1	1	1			
70	シダレモミジ	2	2	2	2			
72	シノブヒバ	1	1	1		1		常緑
74	スグリ	2			2			
75	ズミ	1	1	1	1			
76	スモモ	1	1	1	1			中国
79	タラヨウ	2	2	2	2			常緑
82	ツキカゲシダレウメ	1	1	1	1			
計		94	33	64	86	8	0	

表 16 生育数が5本以下の樹木(2)

五十音順								
番号	種類	本数	低	高	広	針	その他	原産地
86	ツリバナ	2	2		2			
87	デマリカンボク	1	1		1			
92	トドマツ	1		1		1		常緑
94	ナツツバキ	5		5	5			
96	ナンジャモンジャ(ヒトツバタゴ)	4		4	4			
97	ニガキ	2		2	2			
99	ニワトコ	1	1		1			
101	ノリウツギ	2	2		2			
104	ヤエベニザクラ	1		1	1			
105	ハギ	2	2		2			
107	ハナキササゲ	1		1	1			
110	バラ	2					2	世界各地
111	ハリギリ	2		2	2			
112	パンクスマツ	1		1		1		北米
113	ヒノキ	4		4		4		常緑
115	ヒメコマツ	1		1		1		常緑
116	ヒメゴヨウ	2		2		2		常緑
117	ヒメシャラ	1		1		1		
118	ヒメリンゴ	2	2		2			
119	ヒュウガミズキ	2	2		2			
120	ヒヨクヒバ	1		1		1		常緑
121	ビワ	1		1	1			常緑
122	フジ	2					2	
123	フヨウ	3	3		3			
124	ブルーベリー	4	4		4			北米
125	ベニサンザシ	1	1		1			
126	ベニスダレ	3	3		3			
128	ポポー	1		1	1			北米
130	マツ	2		2		2		常緑
131	マメツゲ	2	2		2			常緑
133	ミズキ	5		5	5			
134	ムクゲ	1	1		1			中国
135	モクゲンジ	4		4	4			
136	モクセイ	2		2	2			常緑
137	モクレン	1		1	1			中国
139	モモ	1	1		1			中国
140	ヤエザクラ	2		2	2			
141	ヤナギ	1		1	1			
142	ヤマザクラ	2		2	2			
143	ヤマツツジ	3	3		3			
144	ヤマナシ	1		1	1			
146	ヤマボウシ	5		5	5			
152	ルブラカエデ	2		2	2			北米
155	ロウバイ	1	1		1			中国
156	ヤツデ	2	2		2			常緑
計		92	33	55	75	13	4	

## (6) 移入された樹木(表 17)

史跡内にあっても都市公園として整備されてきた経緯から本来、盛岡周辺には生息せず天然分布を超えた樹木、いわゆる移入種が植栽されてきた。これらの樹木は盛岡にあっては植物園的な役割を果たしてきた経緯もあり、大通から移植されたイチョウなどは文化的位置付けからも重要な樹木もある。またカラタチのようにアゲハチョウの生息上からも必要で、造園文化史からも貴重な樹木もあることから、史跡としても危険でなければ強制的に排除しない方向とする。

ただし、公園や史跡の質を高める意図から、将来的には在来の低木で見通しのきく樹木への更新を図り、史跡や都市公園としての質の向上を図る。

基本方針：本質的価値を構成する枢要の諸要素を阻害している樹木は計画的に伐採し、史跡や公園の質を高めるため適時見通しの効く在来木に更新する。  
対象樹木：イチョウ、ウメ、エンジュ、カラタチ、キササゲ、キンモクセイなど。

## (7) 記念に植えられた樹木(第 29 図)

生育地は整備計画において不明門の枳形遺構や鶴ヶ池西岸の土塁の遺構表示を計画していることから、移植を前提とするが、発掘調査の結果、遺構を損なう恐れがある場合には伐採を行う。

基本方針：本質的価値を構成する枢要の諸要素の保存管理に支障とならない限り保全を行っていく。

対象樹木：ツゲ 3 本(三ノ丸南東部不明門東側 1 本、台所跡北東部 2 本)  
(東北新幹線開通記念植樹・昭和 57 年 大宮市長・盛岡市長・市民)

## (8) 標本木・副標本木(表 18, 第 29 図)

平成 9 年 10 月 9 日付けで、盛岡地方気象台から局地的な気象の影響を受けにくい岩手公園内において、植物による季節観測を行いたいとの申し入れがあり、以後観測を行っている。現在はサルスベリがもりおか歴史文化館建設に伴って撤去されており、淡路丸東側のソメイヨシノが標本木、そのほかの樹種は盛岡地方気象台の敷地内に標本木があることから、副標本木となっている。なお、史跡内に生育する対象樹木の本(株)数は表 17 に示すとおりであるが、気象台が観測している樹木の本数は、アジサイ 8 株、イロハモミジ 1 本、サルスベリ 5 本、メイヨシノ 1 本、ツバキ 1 株、ノダフジ 1 株、ヤマツツジ 5 株を対象としていた。

基本方針：本質的価値を構成する枢要の諸要素の保存管理に支障とならない限り適宜保全する。

対象樹木：アジサイ(鶴ヶ池／西側の法面)・イロハモミジ(鉛蔵跡／淡路丸東下の梅林)・ソメイヨシノ(淡路丸／本丸東側の下)・ツバキ(本蔵跡／彦蔵の東側)・(ノダ)フジ(鶴ヶ池／西側の藤棚)・ヤマツツジ(台所跡／西側法面)

表 17 移入された樹木

									五十音順
番号	種類	本数	低	高	広	針	その他		原産地
2	アオギリ	2		2	2				東南アジア
7	アセビ	59	59		59			常緑	宮城県以北
9	アメリカザイフリボク	4		4	4				北米
13	イチヨウ	19		19		19			中国
18	ウメ	96		96	96				中国
25	エンジュ	1		1	1				中国
29	カクレミノ	4		4	4			常緑	千葉県以北
36	カラタチ	11	11		11				中国
37	キササゲ	18		18	18				中国
42	キンモクセイ	6		6	6			常緑	中国
49	コウヤマキ	9		9		9		常緑	福島県以西
62	サルスベリ	5		5	5				中国
64	サンザシ	3	3		3				中国
65	サンシュユ	19		19	19				中国・朝鮮
71	シダレヤナギ	7		7	7				中国
76	スモモ	1		1	1				中国
81	チョウセンゴヨウ	6		6		6		常緑	福島県以西
88	ドイツウヒ	7		7		7		常緑	欧州
89	ドウダンツツジ	304	304		304				房総半島以西
96	ナンジャモンジャ(ヒトツバタゴ)	4		4	4				愛知・岐阜
106	ハナカイドウ	12	12		12				中国
108	ハナミズキ	15		15	15				北米
109	ハナモモ	12		12	12				中国
110	バラ	2					2		世界各地
112	バンクスマツ	1		1		1			北米
124	ブルーベリー	4	4		4				北米
127	ボケ	59	59		59				中国
128	ポポー	1		1	1				北米
134	ムクゲ	1	1		1				中国
137	モクレン	1		1	1				中国
139	モモ	1	1		1				中国
150	ユキヤナギ	62	62		62				関東以西
150	ライラック	7	7		7				欧州
151	リュウキュウツツジ	228	228		228			常緑	沖縄
152	ルブラカエデ	2		2	2				北米
155	ロウバイ	1	1		1				中国
計		994	752	240	950	42	2		



#### 4 危険を及ぼす可能性のある樹木(表 19, 第 30 図)

史跡地内には多くの樹木が生育しており、枯損により倒木の恐れや落枝により来園者に危険を及ぼす可能性が指摘されている。また、その生育場所は城跡への主要動線にとどまらず、都市計画道路下ノ橋更ノ沢線沿いや園路、鶴ヶ池や亀ヶ池の外周や台所西側法面などの傾斜地や中島、さらには石垣の天端など多様で、落枝傾斜一部では傾斜地にも生育している。具体的には 11 種類 60 本の危険を及ぼす可能性のある樹木が認められ、特に自然に生育した都市計画道路沿いや鶴ヶ池南側西岸土塁上などのケヤキや大正期以降に植えられた二ノ丸の中ノ丸跡中央や亀ヶ池南側南岸のトチノキからの落枝は、実際に来園者や車両へ被害を与えている。

これらの危険を及ぼす可能性のある樹木は、一方で緑陰をもたらす重要な役割を担っていることから、日常の監視によって倒木や落枝等の危険性を予見して安全性の確保に努めるものとする。

基本方針：老木化や災害による枯損により落枝や落実、倒木により来園者の生命や財産に危険を及ぼす可能性のある樹木は、適時剪定や伐採を行う。

対象樹木：アカマツ 7 本、アンズ 1 本、イチイ 1 本、エゾエノキ 1 本、キハダ 1 本、キャラボク 2 本、ケヤキ 13 本、コウヤマキ 1 本、ゴヨウマツ 1 本、ソメイヨシノ 1 本、トチノキ 15 本、アンズ 1 本

具体的施策

ア 傾斜地に生育する樹木で根系が浅く倒木の可能性が高いものは伐採を行う。

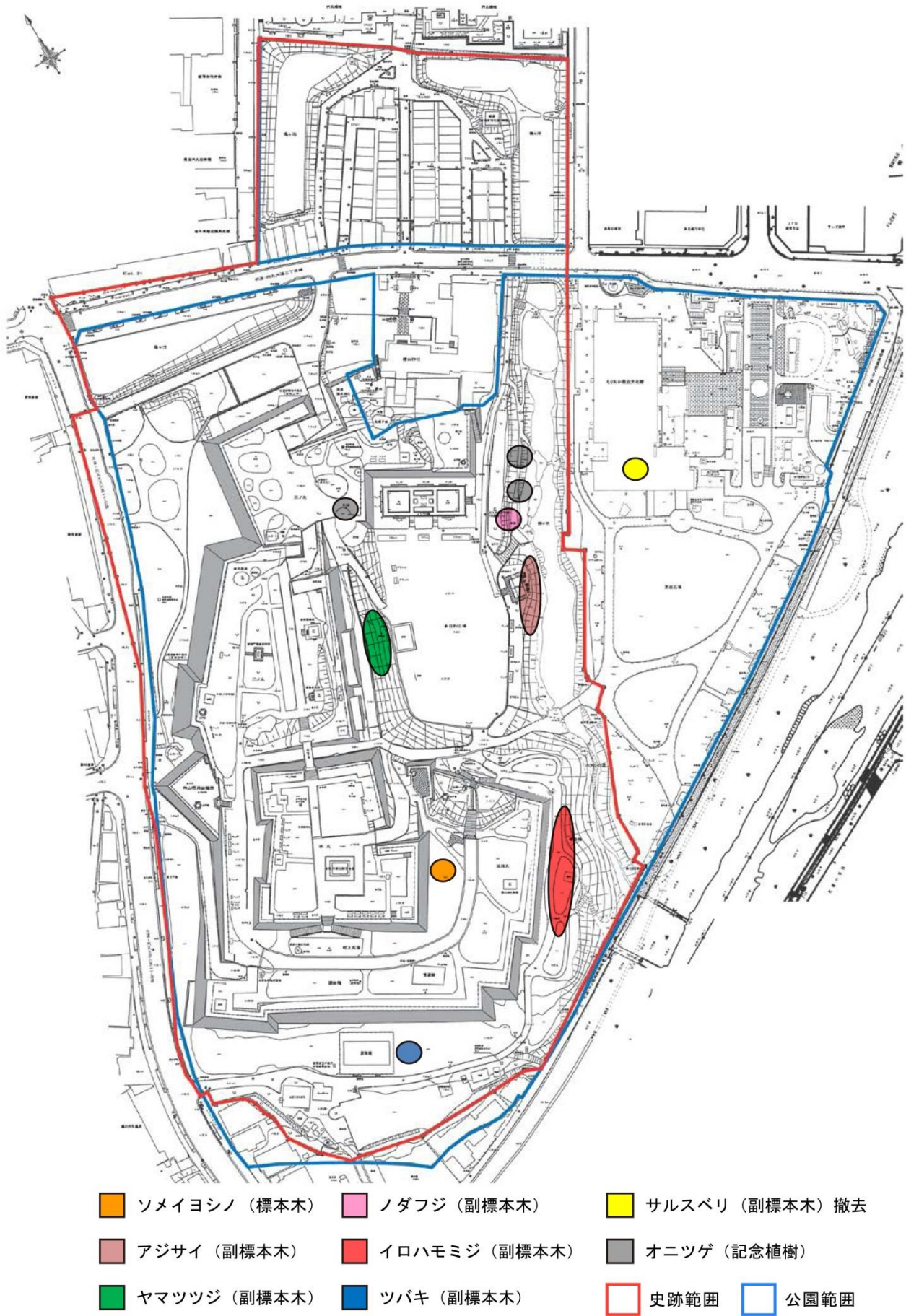
イ 根や枝が枯損した樹木については、枝降ろし又は伐採を行う。枝降ろしは切断面から樹木に腐朽が入らないよう適切な措置を講じる。

ウ 落下の危険性の高い横枝は、適宜枝おろしを実施する。

エ 倒木が確認された場合には速やかに搬出する。

表 18 標本木と副標本木

番号	地区	本(株)数	低	高	広	その他	地区	五十音順 正・副
5	アジサイ	79	79		79		鶴ヶ池西	副標本
16	イロハモミジ	230		230	230		鍛冶屋門	副標本
62	サルスベリ	5		5	5		消滅	副標本
77	ソメイヨシノ	10		10	10		淡路丸東	正標本
85	ツバキ	33		33	33		彦蔵東	副標本
122	(ノダ)フジ	2				2	鶴ヶ池西	副標本
143	ヤマツツジ	3	3		3		台所西	副標本
		362	82	278	360	2		



第 29 図 記念植樹と標本木・副標本木

表 19 危険を及ぼす可能性のある樹木

番号	種類	本数	直径	幹周り	地区	五十音順
						影響
39	アカマツ	1	30	94	鶴ヶ池南側中央	倒木・傾斜
46	アカマツ	1	65	204	榊山稲荷曲輪南側	落枝・石垣変位
72	アカマツ	1	45	141	二ノ丸南西出隅	大木・石垣変位
98	アカマツ	1	40	126	鶴ヶ池南側東岸方面	倒木・傾斜
—	アカマツ	1	—	—	本丸門下	倒木・傾斜
—	アカマツ	1	—	—	本丸門下	倒木・傾斜
—	アカマツ	1	—	—	本丸門下	倒木・傾斜
—	アンス	1	64	201	淡路丸南西側	落枝・枯損
277	イチイ	1	80	251	二ノ丸南東側	落枝・石垣変位
722	エゾエノキ	1	97	305	下曲輪北東部法面	落枝・枯損・洗掘
823	キハダ	1	97	305	亀ヶ池南側法面	落枝・洗掘
825	キャラボク	1	36	113	淡路丸南西側	落枝・石垣変位
826	キャラボク	1	34	107	淡路丸南西側	落枝・石垣変位
931	ケヤキ	1	60	188	都市計画道路下ノ橋更ノ沢線東側	落枝
934	ケヤキ	1	38	119	都市計画道路下ノ橋更ノ沢線東側	落枝
935	ケヤキ	1	65	204	都市計画道路下ノ橋更ノ沢線東側	落枝
936	ケヤキ	1	46	144	都市計画道路下ノ橋更ノ沢線東側	落枝
937	ケヤキ	1	30	94	都市計画道路下ノ橋更ノ沢線東側	落枝
939	ケヤキ	1	58	182	都市計画道路下ノ橋更ノ沢線東側	落枝
944	ケヤキ	1	100	314	台所北西側法面	落枝・枯損
947	ケヤキ	1	134	421	榊山稲荷曲輪下西側	落枝
953	ケヤキ	1	50	157	鶴ヶ池南側西岸土塁上	落枝・枯損
957	ケヤキ	1	42	132	鶴ヶ池南側西岸法面	落枝・枯損・洗掘
958	ケヤキ	1	135	424	三ノ丸下東側	落枝・枯損
964	ケヤキ	1	94	295	鶴ヶ池南側西岸土塁上	落枝・枯損
968	ケヤキ	1	90	283	三ノ丸北側中央	大木・石垣変位
979	コウヤマキ	1	96	301	二ノ丸南東側	落枝・石垣変位
1006	ゴヨウマツ	1	85	267	淡路丸北東側	落枝・石垣変位
1040	ソメイヨシノ	1	34	107	淡路丸北東側	枯損
2177	トチノキ	1	57	179	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2178	トチノキ	1	62	195	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2179	トチノキ	1	48	151	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2180	トチノキ	1	59	185	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2181	トチノキ	1	51	160	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2182	トチノキ	1	52	163	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2183	トチノキ	1	49	154	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2184	トチノキ	1	45	141	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2185	トチノキ	1	51	160	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2186	トチノキ	1	57	179	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2187	トチノキ	1	48	151	亀ヶ池南側南岸	落枝・落実
2188	トチノキ	1	67	210	台所北西側法面	落枝・落実
2189	トチノキ	1	74	232	台所北西側法面	落枝・落実
2209	トチノキ	1	83	261	台所北西側法面	落枝・落実
2210	トチノキ	1	116	364	台所北西側法面	落枝・落実
—	トチノキ	16	116	364	二ノ丸中ノ丸中央	落枝・落実
計		60				





第 30 図 危険を及ぼす可能性のある樹木